

親子でえほんをよむ会

3歳～6歳



テーマ：ゆかい・奇想天外



「なんだか、へんな飛行機が飛んでいるよ！」



①『ゴロゴロ にゃーん』

長 新太/作・画
福音館書店

飛行機はゴロゴロ、ねこたちはにゃーんにゃーん。たくさんのねこを乗せた飛行機が飛んでいきます。



「次は、とんでもない物を作る兄弟のお話です。」



②『ああ、たいくつだ』

ピーター・スピア/作・絵
松川 真弓/訳
評論社

たいくつでたまらない兄弟が、プロペラや車輪、椅子、窓、シーツなどたくさんの材料を集めて何かを作っています。



「最後は、とても便利な家に住んでいる男の子のお話です。」



③『ものぐさトミー』

ペーン・デュボア/作・絵
松岡 享子/訳
岩波書店

トミー・ナマケンボは電気仕掛けの家に住んでいます。ご飯を食べたり歯を磨いたり、全部自動でしてくれます。ところがある夜、停電になって…。

たとえばこんなとき・・・
ちょこっとアドバイス

ナンセンス絵本を楽しめるのは
成長のあかし！

意味がない、必然性がない、けどユーモアがある。そんな絵本を総称してナンセンス絵本といいます。今回紹介したようなナンセンス絵本を子どもが楽しみながら聞けるということは、発想が柔軟で言葉の意味や状況が理解できるようになったからです。親子で一緒に笑ってみませんか？

